

佐久市立近代美術館・佐久市立天来記念館連携企画

比田井天来とその流れ

長野県北佐久郡協和村片倉（現 佐久市協和）出身の書家・
比田井天来（1872-1939）。天来は、日本の近代書を切り開いた書家として知られています。日下部鳴鶴に師事して多くの碑法帖を研究した天来は、筆法を研究し、古典の臨書の重要性を説くなど、「現代書」の確立に大きな影響を与えました。天来はその生涯において多くの業績を遺していますが、その中でも特に注目されるのは、古法（俯仰法）の発見と現代書表現のパイオニアとなる弟子を多く輩出した点です。その系譜は、いまなお書道界に受け継がれています。

本展覧会は新佐久市誕生20周年記念事業の一環として、佐久市立近代美術館と佐久市立天来記念館の連携企画として開催します。佐久市立近代美術館では、佐久市立天来記念館所蔵の天来の作品と、佐久市立近代美術館および佐久市立天来記念館所蔵の天来の直門たち、そしてその流れを受け継ぐ書家たちの作品を展示します。佐久市立天来記念館では、令和6年度に天来記念館に寄贈された《龍跳》(1920)を軸として、新規寄贈作品を中心に天来とその妻・比田井小琴の作品、そして佐久市立天来記念館と佐久市立近代美術館所蔵の門流の作品を展示します。

佐久市立近代美術館 同時開催

【コレクション展】

近代日本画から現代の日本画へ

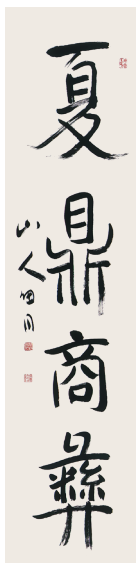
—日本美術院再興 110 周年を記念して—

大正3年(1914)、岡倉天心の歿後一周忌を期に、横山大観らによって再び興された日本美術院は、令和5年(2024)に再興から110年の年を迎えました。これを記念して、佐久市立近代美術館のコレクションから院展に所属する作家たちを取り上げ、そこに見られる近代日本画から現代の日本画への歩みを紹介します。

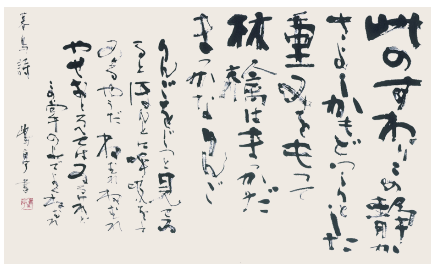
下村觀山《美人觀桜》 1901年頃



佐久市立近代美術館



桑原 翠邦
《夏鼎商彝》
1982年
近代美術館蔵



金子 鷗亭
《薄暮れの祈り 山村暮鳥詩》
1978年
近代美術館蔵



 佐久平駅(北陸新幹線) から

- ・タクシー 約10分
- ・JR小海線へ乗り継ぎ
「北中込駅」下車 徒歩15分

交通 公共

 自動車

・上信越自動車道
・「佐久 IC」または「佐久平スマート IC
(ETC専用)」から約15分

・中部横断自動車道
・「佐久中佐都 IC」から約10分

会期中のイベント

佐久市立近代美術館

- 「開館記念日」無料開放
5月25日(日)

- 講演会「比田井天来と桑鳩・鷗亭・翠邦・右卿・南谷」
5月25日(日) 14:00~15:30

講師 比田井 和子(株式会社天来書院 取締役会長)

定員 50人

内容 書は芸術である。天来と門流が切り拓いた新しい書の世界を、書になじみのない方にもわかりやすく解説。1962年に録音された門流による座談会「天来を偲ぶ（音声テープ）」も紹介します。

- 席上揮毫会 * 要申込

6月 7日(土) 14:00~16:00

講師 内田 藍亭（書宗院運営理事）、金子 大蔵（創玄書道会評議員）、本田 英之（奎星会同人会員）、松尾 鴻（独立書人団理事）

定員 50人

- 「**展覧会ガイド**」美術館スタッフによる作品解説 ＊
5月18日(日)・6月21日(土) 各日 14:00～

佐久市立天来記念館

- スペシャルギャラリートーク ＊ **要申込**

5月 25日(日) 11:00~12:00

講師 比田井 和子(株式会社天来書院 取締役会長)

問い合わせは天来記念館まで

佐久市立近代美術館・佐久市立天来記念館共通

- スタンプラリー *

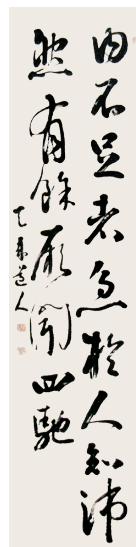
2館両方に来館された方に、先着順でオリジナルグッズをプレゼントします。

- *印のイベントは観覧料のみでご参加いただけます
●「要申込」のイベントは、4月1日(火)9:00から佐久市 LINEおよび
電話(0267-67-1055)で申込受付を行います(先着順)

佐久市立天来記念館



比田井天来《養心王》 1935-40年頃
天来記念館蔵



比田井天来
《知名箴 韓愈》
1939年
天来記念館蔵



 佐久平駅(北陸新幹線) から
・タクシー 25分

 **上信越自動車道**
・ 佐久 I.C から約 30 分
・ 東部湯の丸 I.C から約 30 分
中央自動車道
・ 須玉 I.C から約 2 時間 30 分